

国、地域、サブリージョン、ユースの IGF イニシアティブ

IGF 2024 NRI 作業計画

本文書は https://www.intgovforum.org/en/filedepot_download/21/26977 の機械翻訳である。

目的	アクティビティ	実装方法	タイムライン 2024
1. NRI アジェンダ	NRI は WSIS+20 と GDC プロセスへの貢献を通じて、IGF の進化を説明する。	<ul style="list-style-type: none">• NRI の年次議題は WSIS+20 と GDC を取り上げることができる。• NRI は WSIS+20 や GDC のプロセスに貢献することができる。例えば、WSIS+20 に関する CSTD 協議への回答（専用アンケート）。• CSTD 議長およびポルトガル IGF コーディネーターの指導により、CSTD と協力する。• WSIS+20 と GDC に関する意見交換のための月例会議を別に設けることができる。	継続的 WSIS+20 アンケート ¹ は 2 月 29 日まで受け付けている。
2. IGF への参加	<ul style="list-style-type: none">• IGF の会期中作業との連携を強化する。• IGF 年次総会における他のセッションやトラック（例：DC、議会トラッ	NRI は会期間中作業へのインプットに貢献する（個人的なインプット、または NRI の集合レベルで作成された共通のメッセージを通じて）。	継続的

¹WSIS 実施 20 年レビューのための共同質問票（CSTD、ITU、UNESCO、UNDP） https://forms.office.com/pages/responsepage.aspx?id=2zWeD09UYE-9zF6kFubccJBkWcxFirNjNpRppt_fkQNUMTdQRzg5VjdVN0lZWEJDNlVCQkNWSTY2VCQlQCN0PWcu

		ク)との相乗効果を生み出す。 • NRIのコーディネーターが他のセッションに参加できるようにする。		
3.	NRIセッション	地域レベルでの関与を強化する。	IGF年次総会でNRIのコーディネーション・セッションを開催する。NRI間のより良い連携を模索し、準備することができる。講演者の重複を避ける。	継続的 12月15-19日 - IGF 2024
4.	NRIリモートハブ	IGF年次総会期間中のリモート・ハブの開催を通じて、地域のマルチステークホルダー・エンゲージメントを支援する。	IGF年次総会におけるリモート・ハブの認知度向上。	継続的 12月15-19日 - IGF 2024
5.	MAGとの協力	MAGとの関与を強化する。	MAGの新議長をNRIの会合のいずれかに招待し、協力に関する意見交換を行う。 NRIは、メーリングリストへの投稿や月例会議への参加を通じて、MAG WG戦略に積極的に参加する。	1月NRI電話会議I(済) 継続的
6.	コミュニケーションの強化	NRIの役割と影響をより明確にするための戦略を立てる。	NRIとIGF事務局は、IGFのウェブサイト、ソーシャルメディア、メーリングリストを通じてNRIのグッドプラクティスを公表するメカニズムを構築する。 NRIに関する毎月の最新情報を事務局が共有する。	継続的
7.	政府への働きかけ	NRIプロセスに政府を関与させる方法に関する実践の文書交換。	今年中に1回のNRI会議をこの交流に充て、グッドプラクティスの作業文書に反映させる。	2月

	持続可能性	NRI の経済的持続可能性を確保する方法について議論する。	NRI の会合を 1 回この件に充て、交流を文書化する。NRI に助成金を提供している人々にも会議に参加してもらう。	3 月
9.	ステークホルダーの参加強化	NRI は、十分に代表されていないステークホルダーをマッピングする。	すべての NRI が、そのプロセスにさらに関与するためにステークホルダーのプロフィールをどのようにマッピングできるかについて、意見交換を促進する。	6 月